

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	第二次上水道安全対策事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	水道環境部	課等名	水道課		包含する細々目	70	4	1	1		99		
政策	4 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくり												
施策	45 居住基盤の向上												
実施区分	継続	会計	水道	環境調整会議	済み	関連計画条例等		水道法 飯田市水道条例					
		事業期間	17	年度～	38	年度							

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	上水道給水区域内(統合後)の市民	給水区域内人口(人)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
			105266		99888	
			現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
目的の記述	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	通常時の水道水の安定供給が高まり、非常時の安定供給可能人口を増やすことができるので、市民の安心感が深まる。	安定供給可能人口(人)	18目標	14089	最終目標	38
			18実績	14089	19目標	323
			23目標		23実績	
			18目標		最終目標	
			18実績		19目標	
		23目標		23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	災害、緊急時対策として、備蓄量の増加を伴う配水池の増改築、水系間の連絡管網整備、配水池の緊急遮断弁の設置等を行う。 ・配水池改築(容量増)工事 21箇所 ・水系間の連絡管網整備工事 9箇所 ・配水池緊急遮断弁設置工事 4箇所 (平成15年度策定実施計画に計上されている上水道安全対策事業及び緊急時給水拠点確保事業の平成17年度以降の事業を、17・18年度に策定された長期整備計画の中にもりこみ、妙琴浄水場更新後に上水道安全対策事業として実施して行く。)	平成18年度 ・配水池増改築(容量増)工事 1箇所 (北の原配水池 V = 1,200m3、実施設計 1式、本工事 1式、電気計装設備 1式)  ・龍江配水池増改築(容量増)工事 V = 70m3	改築配水池増貯水量(m3)  配水池貯水量(m3)	555  70

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債	235,000	
	その他	10,406	65,000
一般財源			
事業費計(A)	245,406	65,000	
人件費	正規職員所要時間	18年度 1,700	19年度 800
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	6,079	2,861
	トータルコストA + B	251,485	67,861

特定財源内訳や補足事項	上水道事業債
-------------	--------

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	通常時の水道水の安定供給が高まり、非常時の安定供給可能人口を増やすことができるので、誰もが安心して暮らせるまちづくりに結びつく。	安定給水率(パーセント) = 安定供給可能給水人口(人) / 給水区域内人口(人) × 100	現状値		19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

この事業を開始したきっかけ	事業を取り巻く状況の変化	事業に対する市民や議会の意見
核家族化の進行とともに新築住宅などが増え配水池の容量に余裕がなくなっており、不慮の事故等が発生した場合は給水ができなくなる区域(人口)が出てくるため。	道路整備が進むとともに人口の流れも変化しており、土地利用の変化が大きく、いくつかの配水池の容量不足が進んでいる。東海地震の強化地域に指定された。阪神淡路大震災や新潟県中越地震などでライフラインである上下水道の地震対策が大きな課題とされてきている。	安定供給及びライフラインの整備が市民から求められている。

## 【See】18年度の振り返り

目的妥当性評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) 結びつく (その理由)	有効性評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) 余地がある (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) 必要性がある (その理由)		廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) 影響あり (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) 必要性がない (その理由)		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)？	(評価) 統合不可能 (類似事業名、理由)
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) 必要ある (その理由)		成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) 可能 (その理由)
			公平性評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) 妥当である (受益者とその理由)

## 【Plan】改革改善

今後の事業の方向性	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持	何を、いつまでにどうするのかの改革改善案 長期整備計画を策定する中で、安全対策事業の進行計画を考える。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	長期整備計画に反映させる。

### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がある	(2) 必要性な場合の実施事由	2- その他、必要が生じたとき
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	周辺の環境(病院、住宅)を考慮し、低振動、低騒音型のパイロハンマ及び重機の使用とした。		

### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	